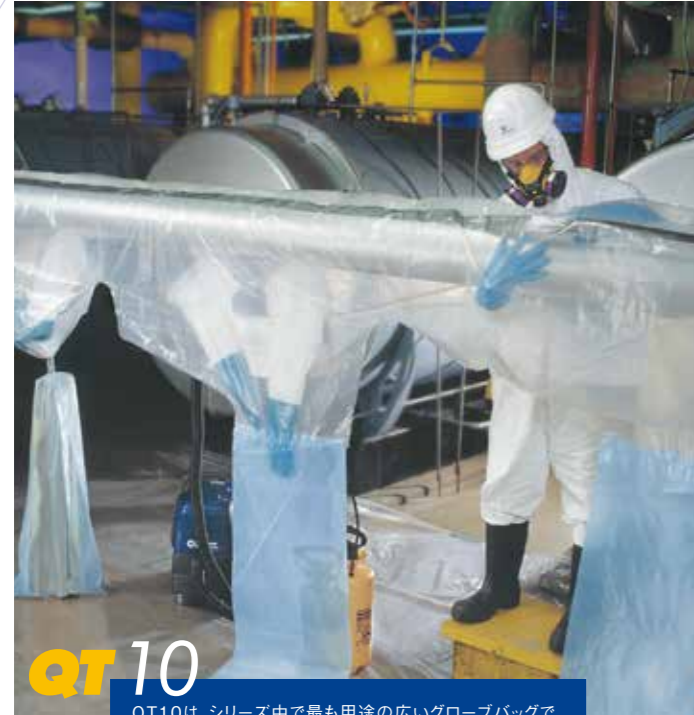


全長1,524万メートルに上る、アスベスト除去の実績。
安全、簡単、確実。そして破裂や亀裂に強い耐久性。



QT10

QT10は、シリーズ中で最も用途の広いグローブバッグで、使用頻度が高い製品です。直径25センチまでの配管に適合し、1袋当たり100~130センチの配管断熱材を除去することができます。旧式の5460タイプのグローブバッグに代わる製品です。最長27メートルまで連続して使用できます。



QT14

より大きい配管の場合には、QT14をお使いください。直径25~35センチの配管を安全に包み込み、1袋当たり122~150センチの配管断熱材を処理することができます。最長22メートルまで連続して使用できます。



V10

縦パイプ用に特別に設計されたグローブバッグです。特筆すべき独特の形状で直径が25センチまでの配管に対応します。より大きな縦パイプ用にV24があり、1枚ずつバラで梱包してあります。



PC250

高温が約120度までの高温のパイプやダクトからアスベスト断熱材を除去することが可能です。高温対応プラスチックに革製の手袋を装着し、蒸気配管や温水暖房配管用に設計されています。

AVAIL QuickTwist グローブバッグ仕様書 (cm)

	QT10	QT14	QT18	QT30	V10	V24
作業範囲	106cm~27m	122cm~22m	137cm~16m	152cm~9m	104cm	104cm
対応パイプ直径	25cm以下	25~35cm	35~45cm	45~76cm	25cm以下	25~60cm
袋ケース入数	20/ロール	15/ロール	10/ロール	5/ロール	20	15
グローブ数	1セット/袋	1セット/袋	2セット/袋	3セット/袋	1セット/袋	2セット/袋
対応パイプ形態	横パイプ	横パイプ	横パイプ	横パイプ	縦パイプ	縦パイプ
厚さ	150ミクロン	150ミクロン	150ミクロン	150ミクロン	150ミクロン	150ミクロン
ケースサイズ	21×21×110cm	21×21×110cm	21×21×110cm	21×21×110cm	54×54×26cm	54×54×26cm
ケース重量	15kg	15kg	14kg	10kg	17kg	19kg
形状						

※仕様書のサイズは、多少の誤差が生じる場合がございます。

別注 AVAIL QuickTwist グローブバッグ仕様書 (cm)

	M6	S5460	GSV12	GSH620	GSH1220
作業範囲	30cm	100cm	240cm×450cm	600cm×360cm	600cm×720cm
対応パイプ直径	15cm以下	25cm以下	30cm以下	76cm以下	182cm以下
袋ケース入数	40	25	5	1	1
グローブ数	1セット/袋	1セット/袋	6セット/袋	8セット/袋	14セット/袋
対応パイプ形態	縦・横両パイプ	横パイプ	縦パイプ	横パイプ	横パイプ
厚さ	150ミクロン	150ミクロン	150ミクロン	220ミクロン	220ミクロン
ケースサイズ	54×54×26cm	54×54×26cm	54×54×26cm	54×54×26cm	20×21×109cm
ケース重量	16kg	16kg	14kg	7kg	11kg
形状					

快適・安全な現場のために

Sanwa Renotech

サンワ・リノテック株式会社

本社:〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1-17-4 Tel 06(6551)0024 Fax 06(6554)1057
関東営業所:〒143-0021 東京都大田区北馬込2-43-5 Tel 03(6410)7395 Fax 03(6410)7396
<http://www.sanwa-renotech.com> E-mail:info@sanwa-renotech.com



AVAIL™
Grayling's AVAIL QuickTwist Glovebag System

アスベスト除去用グローブバッグ
アベイル・クイックツイスト



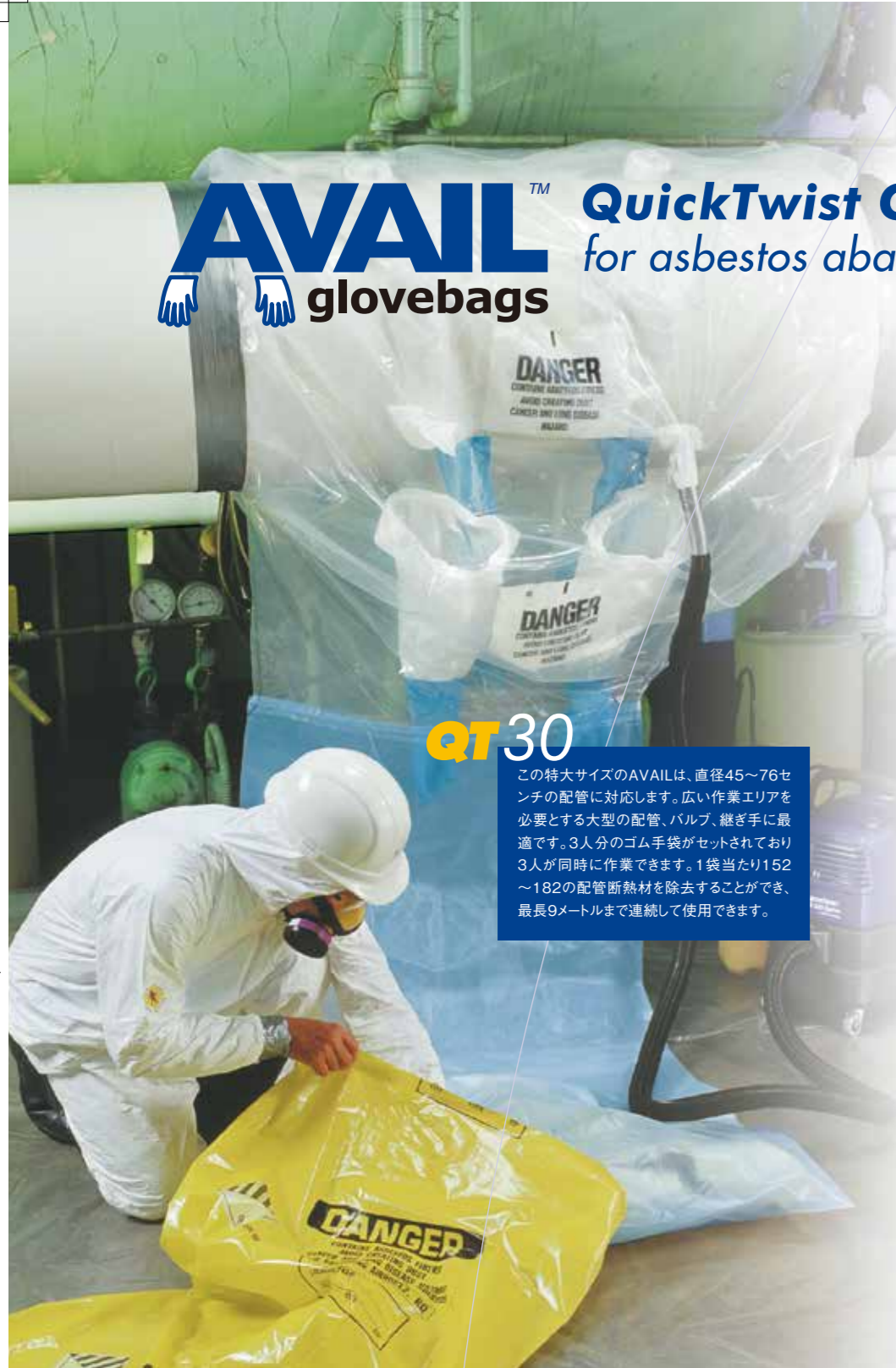
安全、簡単、かつ効率的。



※AVAIL QuickTwistグローブバッグは、米国特許(第5759333号)を取得しています。



AVAIL™ QuickTwist Glovebag System for asbestos abatement from pipe glovebags



QT30

この特大サイズのAVAILは、直径45～76センチの配管に対応します。広い作業エリアを必要とする大型の配管、バルブ、継ぎ手に最適です。3人分のゴム手袋がセットされており3人が同時に作業できます。1袋あたり152～182の配管断熱材を除去することができ、最長9メートルまで連続して使用できます。



QT18

QT18なら、直径35～45センチの大径管でも問題ありません。2人分のゴム手袋がセットされており137～167センチの配管断熱材に簡単にアクセスし、除去することができます。最長16メートルまで連続して使用できます。

米国・グレイリング社の特許。 アスベスト除去用グローブバッグ、 AVAIL™ QuickTwist(アベイル・クイックツイスト)

米国・グレイリング社の「AVAIL QuickTwist グローブバッグ」は、配管に使用されているアスベスト除去工事に於いて、最も使用実績が高く、使いやすく、安全な方法であると言う評価が定着しており、他のどの製品よりも多くの専門家に選ばれています。5,000万フィート(約15,240km)に上る配管断熱材の除去に使用されてきました。断熱材の除去作業部分と、除去した廃棄物を隔離する部分との、2つの空間を備えた「QuickTwist」シリーズの登場でさらに進歩を遂げました。「QuickTwist」は除去作業部分が広く、困難な場所でも作業しやすくなっており、除去された配管断熱材を入れる廃棄袋は、十分な長さの設計になっているため簡単にねじって切り離す事が出来ます。廃棄袋の素材は、PHDポリマーの採用により、どのグローブバッグよりも刺し傷や断裂に対する強度が強くなっています。

QuickTwist Glovebag Directional 「AVAIL」グローブバッグの施工方法(DVDでもご覧になれます。) ※この作業手順は、アメリカ合衆国の規則に従っております。日本国内においては国内規則に従ってください。



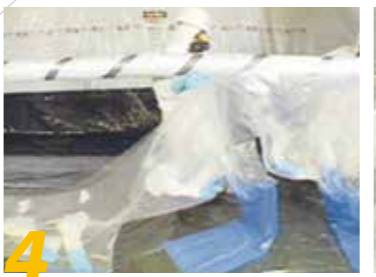
1 アスベストを含有している断熱材の状態を調べ、除去作業中に配管断熱材の損傷部分からアスベスト繊維が飛散するおそれがないことを確認してください。断熱材がすでに損傷を受けている場合には、除去作業を開始する前に粉じん抑制剤等で損傷部分を処理する必要があります。HEPA真空掃除機で慎重に配管を掃除し、すべてのアスベストダストを除去します。除去作業の対象となる配管と、それに隣接する配管のうち、作業者が接触するおそれがあったり、除去作業中の振動の影響を受けたりする可能性がある配管を掃除してください。



2 断熱材がもろく、砕けやすい場合には、除去作業の期間中、作業対象となる配管及び作業エリアに隣接する配管をポリエチレンシートで包んでください。さらに上記写真のように包んだポリシートをダクトテープでラセン状にテープリングして固定してください。これによりアスベスト繊維の飛散を防止します。次に除去作業の対象となる配管の長さを測定します。必要な長さのグローブバッグをロールから切り取る時のサイズおよび廃棄袋の数を図を参考にしてください。



3 除去作業する配管断熱材の長さに必要なグローブバッグを外箱から引っぱり出して広げます。作業対象の配管の外径より少し大きめの作業エリアを持つグローブバッグを使うと、簡単に作業の配管の外径に装着できます。作業配管の長さが決まったら、必要な長さでカッターナイフを使って廃棄袋を分離している部分(マジックで印が付けています。)でグローブバッグを切り離します。作業を始める前にグローブバッグの作業エリア内の工具袋に必要な工具を入れてください。このQTグローブバッグには、連続して作業エリアと廃棄袋がつながっているため複数のグローブバッグを同時に利用できるという長所があります。同じ作業を何度も行う必要がないため、セットアップ時間が短縮されるのです。従来型の養生シートを使ってセットアップするのは、労務費が最大で40%も違ってきます。



4 次に、グローブバッグを取り付けます。グローブバッグの作業エリア部分の上部両端を持ち、配管の所に持って行ってください。廃棄袋エリアと一緒に移動し、配管の周囲で開口部を引っ張りませ。無事に引っ張らないようにして、上部両端を重ね合わせてください。ダクトテープを少し取り、バッグを所定の位置に留めます。グローブバッグの各作業エリアのポリシートの端を順次平らにし、ダクトテープを使って、バッグ開口部を端から端まで密封します。この時、ダクトテープが配管断熱材に触れないようにしてください。配管固定器具がある部分の開口部は、そのままにしておきます。



5 作業配管の端の部分に戻り、配管周囲で開いている作業エリアのポリシートをまとめ、ダクトテープを何重にも巻いて配管上でしっかりと密封します。作業配管の反対側の端の部分についても、この手順を繰り返してください。最大作業エリアに合わせて両端端を取り付けますが、その際、ややたるみを持たせるようにします。このたるみが、範囲内にある作業エリア内での作業を容易にしたグローブバッグの廃棄袋を取り外しする際にも必要になります。この時、ダクトテープが配管断熱材に触れないようにしてください。配管固定器具がある部分の開口部は、そのままにしておきます。



6 噴霧器に入れる湿潤剤の混合と使用に際しては、湿潤剤メーカーの指示に従ってください。エントリーポート(挿入口)からHEPA掃除機と噴霧器を作業配管の反対側の端の部分についても、この手順を繰り返してください。最大作業エリアに合わせて両端端を取り付けますが、その際、ややたるみを持たせるようにします。このたるみが、範囲内にある作業エリア内での作業を容易にしたグローブバッグの廃棄袋を取り外しする際にも必要になります。この時、ダクトテープが配管断熱材に触れないようにしてください。配管固定器具がある部分の開口部は、そのままにしておきます。



7 次に、煙試験キットを使って、グローブバッグがきちんとテープシールされ密封されているかどうかを試験します。まず、紐かダクトテープを使って最初のホースを挿入し、ダクトテープを使ってそれぞれエントリーポート(挿入口)上で密封します。



8 次に、煙試験キットを使って、グローブバッグがきちんとテープシールされ密封されているかどうかを試験します。まず、紐かダクトテープを使って最初のホースを挿入し、ダクトテープを使ってそれぞれエントリーポート(挿入口)上で密封します。



9 これで、断熱材除去作業の準備ができました。最初の作業範囲のグローブバッグの作業エリアに付いている袖部分に手と腕を入れ、湿潤剤で断熱材を十分に濡らせてください。断熱材を固定しているバンドやワイヤを全て切り取り、断熱材に金属製のカバーが付いている場合には、特に慎重に金属カバーを取り除いてください。金属板の先端がとがっている、グローブバッグが切れるおそれがあります。金属板の先端を内側に折り曲げ、先端の尖った部分が露出しないようにしてください。先に別の土嚢袋等を準備して金属板を処理して、グローブバッグを保護する業者もいます。



10 金属板を廃棄袋の底までそっと下ろし、もう一度湿潤剤で断熱材を濡らせます。断熱材が配管にしっかりと固定されている場合には、ワイヤカッターを使って断熱材を切断してください。QTグローブバッグには独自の形状の廃棄袋が採用されており、配管断熱材を傷つけないで丸ごと簡単に除去できます。又配管に付着している断熱材の破片等も安全に除去することができます。



11 断熱材を配管からはがして、廃棄袋の底まで下ろします。断熱材が隣の作業エリア付近まで延びている場合には、これも必ず取り除いてください。通常、断熱材は半円形で配管に取り付けられていますが、断熱材は、3フィートか1メートル単位で使用されることが多いため、注意深く様子を探せば、断熱材を傷つけないで簡単に除去することができます。断熱材が非常に劣化していたり、もろくなったりしていない限り、これらの部分は、通常簡単に取り除くことができます。



12 作業エリアと廃棄袋エリアが連続してつながっているQTグローブバッグの長所として長い配管や連続している配管の除去作業を連続的に処理できるという利点があります。へらや金ブラシ等を使って、残っているアスベスト断熱材の破片を完全に引き出すか、削り取ってください。断熱材が完全に除去されたら、ブラシと湿潤剤を使って配管をきれいに洗浄します。



13 抑制剤をポンプスプレー器に入れ、配管の表面とグローブバッグの内部に十分に噴霧します。これで残留しているアスベスト繊維の残りがなくなりますという利点があります。へらや金ブラシ等を使って、残っているアスベスト断熱材の破片を完全に引き出すか、削り取ってください。断熱材が完全に除去されたら、ブラシと湿潤剤を使って配管をきれいに洗浄します。



14 次に、除去作業が終わった配管とまだ汚染されたグローブバッグの内部に十分に噴霧します。これで残留しているアスベスト繊維の残りがなくなりますという利点があります。へらや金ブラシ等を使って、残っているアスベスト断熱材の破片を完全に引き出すか、削り取ってください。断熱材が完全に除去されたら、ブラシと湿潤剤を使って配管をきれいに洗浄します。



15 空気を十分に吸い取ったら、除去作業を終了した配管の裏面にある汚れた作業エリアと、除去されたアスベスト断熱材が入っている廃棄物エリアの間を単純に捻じり、その捻じった部分をダクトテープでしっかりと巻きつけて密封します。



16 HEPA掃除機を動作させながら湿潤剤噴霧器のホースを取り外し、ダクトテープでホースを取り外した後のポートの穴を密封します。掃除機を止め、作業エリアと廃棄物エリアの間でねじってダクトテープで巻きつけられた部分の真ん中で、廃棄袋を作業エリアから切り離します。巻きつけられたダクトテープの中心を切り開くと、シールの機密性能を損なうことなく、アスベスト繊維の飛散を防ぐことができます。次に、グローブバッグの作業エリアから掃除機のホースを取り出し、ダクトテープで再度、ポートを密封します。



17 除去作業後のアスベスト廃棄物が入っている廃棄袋は、直ちに適切な表示が印刷されたアスベスト処理袋に入れます。これで次の作業エリアに進む事ができます。同じ作業を繰り返してください。QTグローブバッグの廃棄袋エリアのデザインは初期のグローブバッグの設計を大幅に改善したのようになってきました。初期のデザインは廃棄袋エリアが作業エリアと同じ幅で広すぎたため、15)で行うべきねじってダクトテープを巻きつける、この重要なプロセスが実施しなくなっていました。



18 QT連続式グローブバッグの最後の作業エリアでの作業が終了したら、必ず工具を取り出してください。作業エリアの付いているゴム手袋が工具をつかみ、つかんだまま手をひっぱり出して袖を裏返し、ゴム手袋の上の袖部分を捻じり、その部分をダクトテープでしっかりと包んで、テープが貼られた部分の中心部から切り離して処理剤の中に入れてください。処理剤の中で適切な処理の後に工具を取り出してください。



19 今まで説明した手順に従って最後のグローブバッグの最後の処理袋エリアを取り外します。



20 次に残った作業エリア部分を順次配管から除去します。作業エリアの上部にカッターで切り込みを入れ内側に折り曲げながら、適切な表示が印刷されているアスベスト処理袋に入れます。



21 すべてのグローブバッグの作業エリアのポリシートを取り除いてアスベスト処理袋に入れて密封したら、断熱材を除去した後の全体の配管を抑制剤で固着させてしまいます。



22 グローブバッグの最後の作業エリアのシートが取り除かれ、安全に処分されたら、清掃と浄化を開始してください。作業場の床に敷いていたポリシートを内側に折り、アスベスト処理袋に入れます。除去作業中に落ちた全ての物がこぼれ出たりしないように細心の注意をしてください。すべてのアスベスト処理袋を密封し、すべての規則に適合する方法で廃棄します。特に浄化ユニットが設置されている場合には、その現場の適用されるすべての手順に従ってください。



23 最後の掃除のためにエリアに掃除機をかけ、清掃して作業を終了します。装着していた作業着等を規則に従って適切に処分してください。最後に、作業現場を表示するテープと警告表示を撤去します。お疲れ様でした。これでグローブバッグでの除去作業は完了です。

注意事項
1) グローブバッグは温度が50度を超える配管上で使用しないでください。
2) 本製品の特定用途への適合性は、ご利用者の皆様に判断していただく必要があります。
3) 本製品の特定用途への適合性を判断していただく際、用途、適用に関する規則、法律、政府の規制等に留意する必要があります。
4) 本製品をどのように使用されるかは当社の関知するところではありません。
5) 当社は特定用途への適合性、市場性をはじめ、いかなる事への保証もいたしません。
6) 当社は第三者による本製品の利用に起因するいかなる責任も負いません。
7) 規則や規制は随時変更される可能性があります。除去作業を開始する前に、全ての規制をご自身で確認するようにしてください。